

テサロニケ

第一

④

主に確かに 育まれつつ

テサロニケ人への手紙第一 4章 携挙・聖化

アウトライン

0. イントロダクション

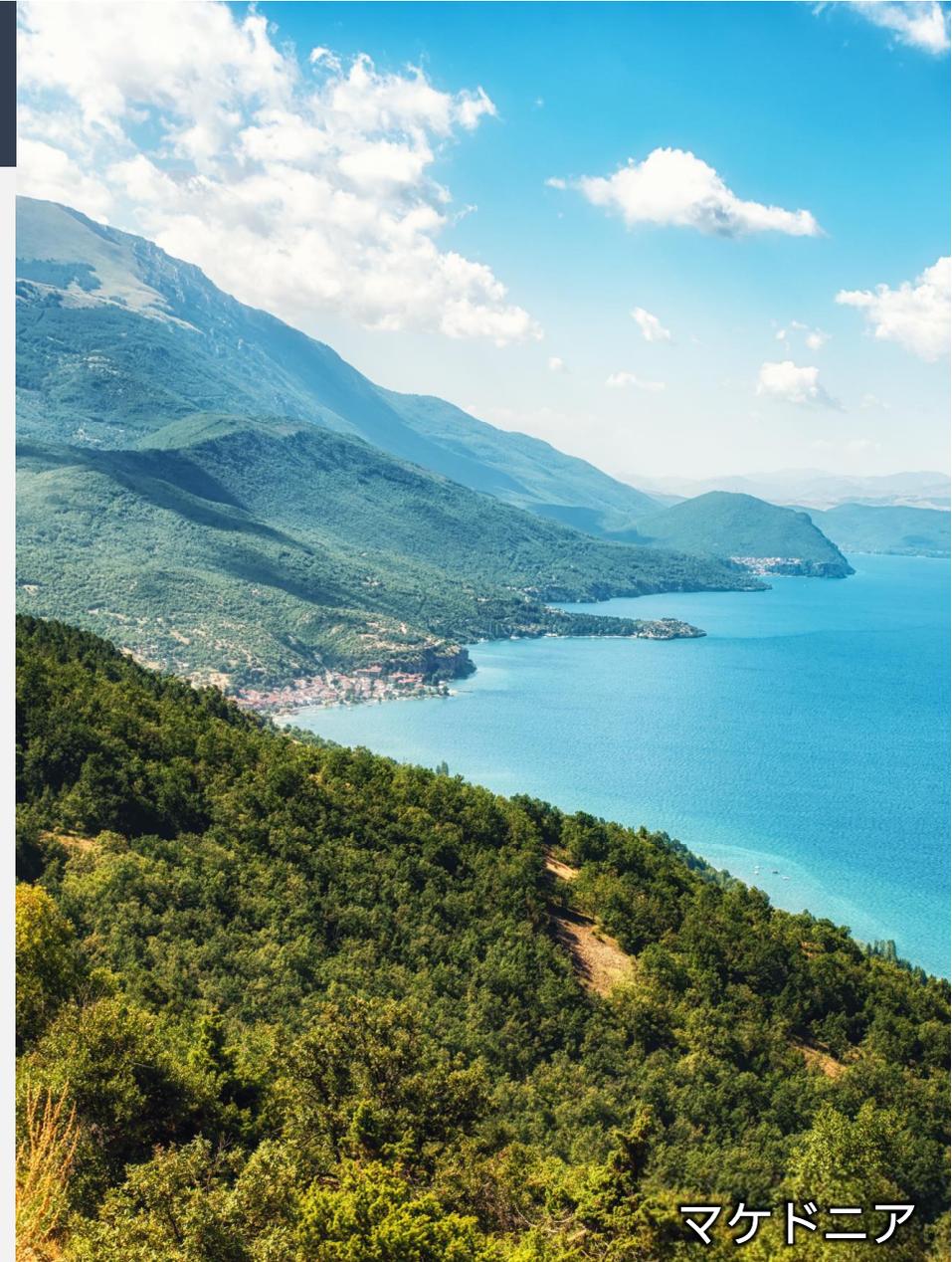
I. 聖化の道 1～12節

II. 携拳の希望 13～18節

III. まとめと適用

聖化の過程を確かに歩もう

主題は、携拳ではなく聖化!!



テサロニケへの手紙第一とは？

■ 著者 …使徒パウロ(書記テモテ)

■ 宛先 …テサロニケ教会

■ 執筆時期・場所

…コリント(最初の滞在中)

■ おもな目的 …教え切れなかった
終末論の補講
信者への励まし



テサロニケへの教会とは？

- ギリシャ神話の神が名の由来
…偶像礼拝。性的乱れ。
- マケドニア州の要衝の町
ユダヤ人の会堂もあった
- 第二次宣教旅行でパウロが伝道。
教会が誕生。➡異邦人が中心。
- 貧しくも信仰熱心、愛の行いも。
マケドニア州にある教会の核に





I. 聖化の道 1～12節

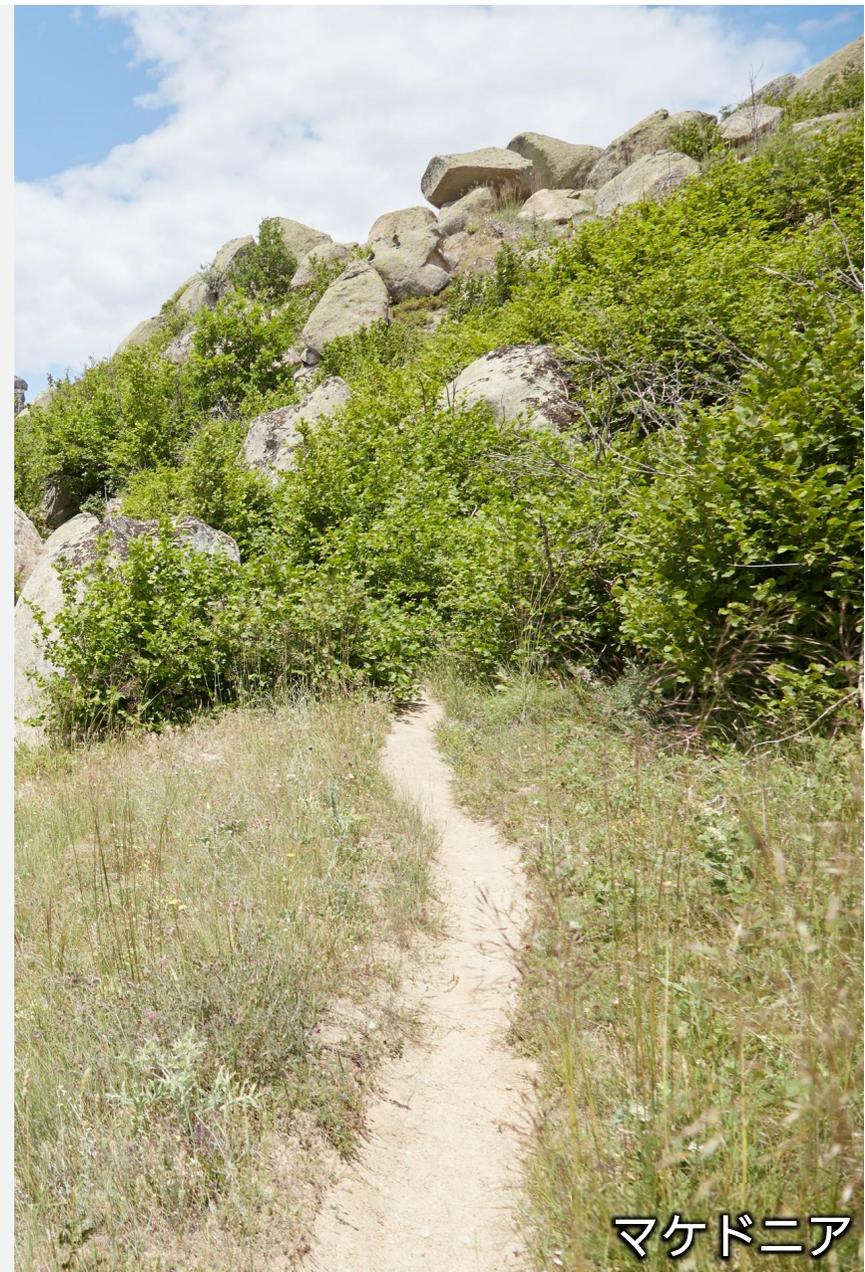
マケドニア

勧告 神に喜ばれるために | テサ4:1

最後に*兄弟たち。主イエスにあってお願いし、また勧めます。あなたがたは、**神に喜ばれる***ためにどのように歩むべきかを私たちから学び、現にそう歩んでいるのですから、ますますそうしてください。

*ここからが手紙の本論

*信仰者が第一の目的とすべきこと



マケドニア

勧告 主の命令 | テサ4:2

私たちが主イエスによって、どのような命令*をあなたがたに与えたか、あなたがたは知っています。

*主の命令に従うことが信者の使命

➔具体的な内容は次節以降



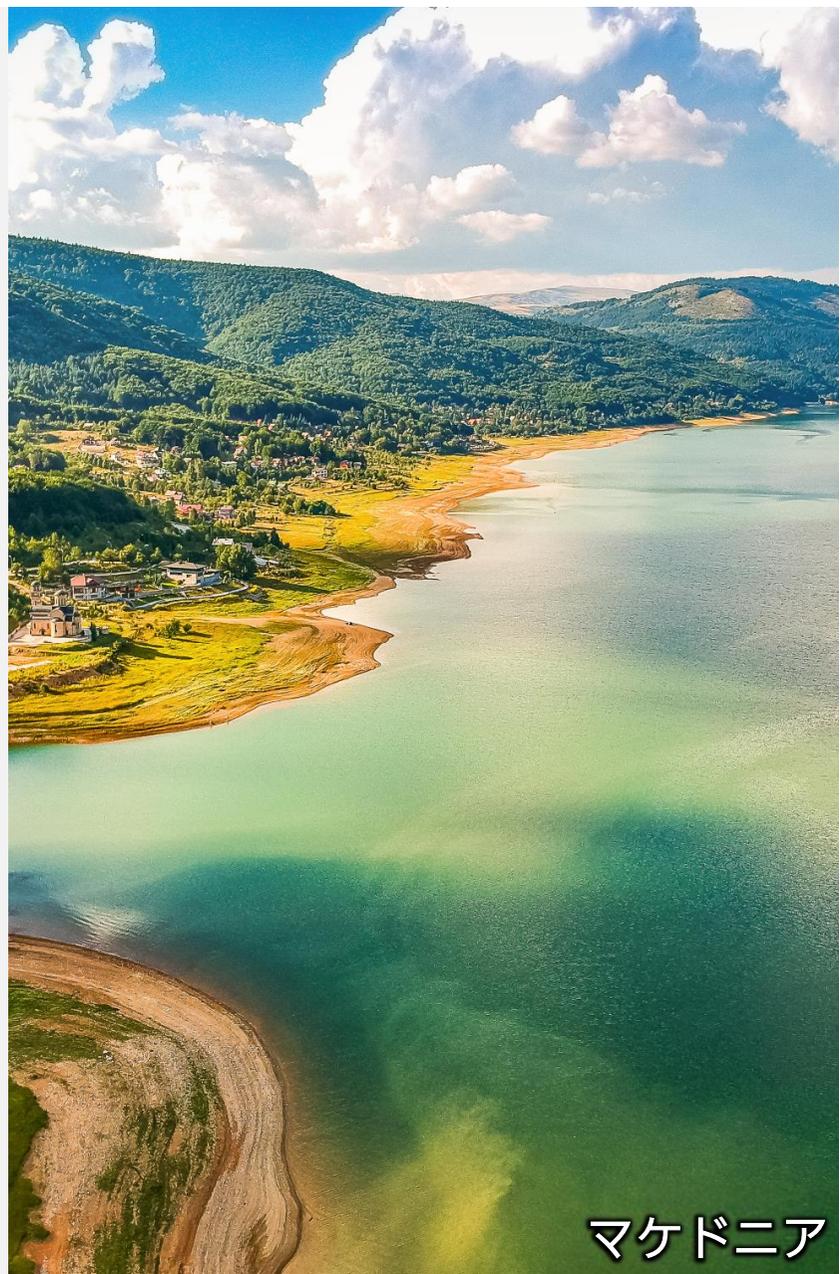
勧告 聖なる者となれ | テサ4:3~6

神のみこころは、あなたがたが**聖なる者***となることです。あなたがたが**淫らな行い***を避け、一人ひとりがわきまえて、自分のからだを**聖なる尊いもの***として保ち、神を知らない異邦人のように**情欲***におぼれず、また、そのようなことで、**兄弟を踏みつけたり欺いたり***しないことです。

*神のものとして他と区別された状態

*神殿娼婦、少年愛、愛人…

*己の欲望の充足のために他者を利用



マケドニア

勧告 神の罰 | テサ4:6

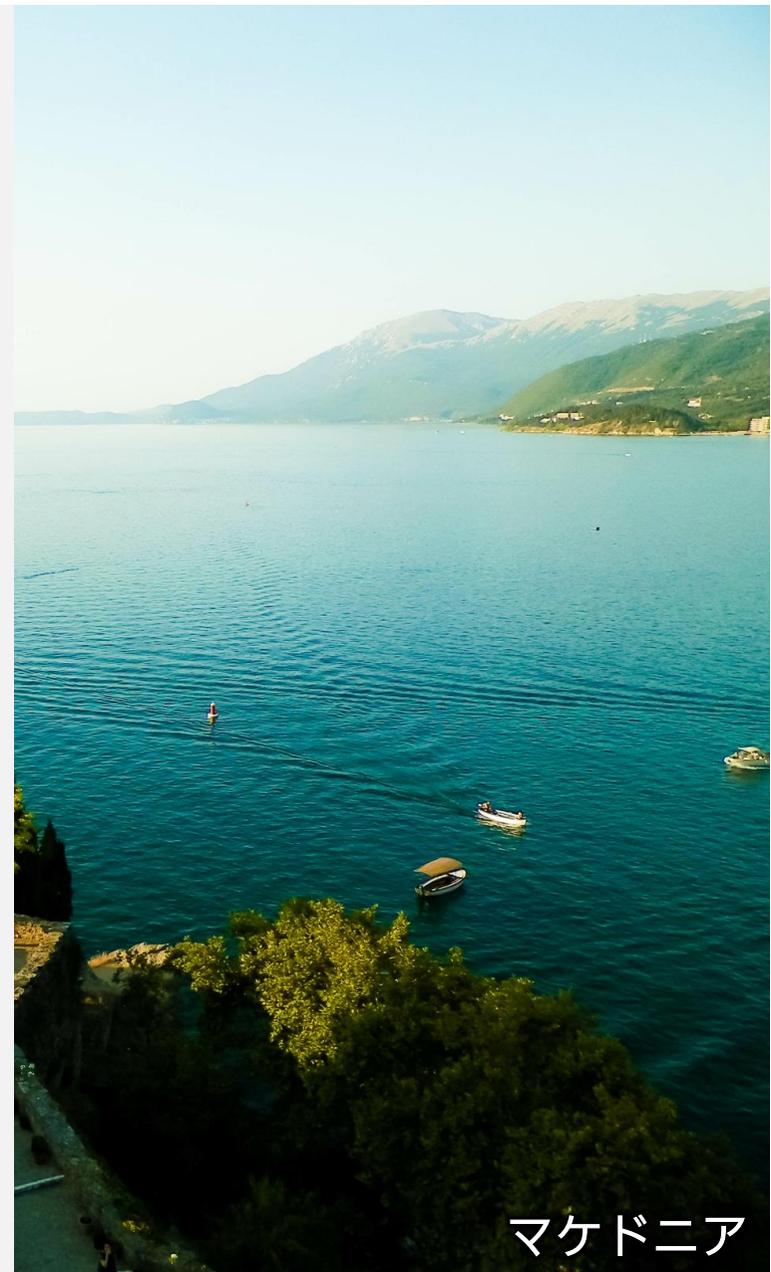
私たちが前もってあなたがたに話し、厳しく警告しておいたように、主は*これらすべてのこと*について罰を与える方*だからです。

*性的罪を筆頭に、聖書が定める全ての罪

*主は罪を裁かれる方である。

■ 救いに至る大前提は、**認罪**。

➔ 神の怒りを受けて滅びに至る罪人だと自分自身を認めること。



勧告 神を拒む者 | テサ4:7~8

神が私たちを召されたのは、汚れたことを行わせるためではなく、**聖さ**にあずからせるためです。

ですから、**この警告を拒む者は***、人を拒むのではなく、あなたがたにご自分の**聖霊**を与えてくださる神を拒む*のです。

***指摘された罪からの悔い改めを拒む**

→聖霊と神を拒む重い罪

■神を拒む者には、厳しい裁きが!!



勧告 兄弟愛 | テサ4:9~10

兄弟愛については、あなたがたに書き送る必要がありません。あなたがたこそ、互いに愛し合うことを神から教えられた人たちで、マケドニア全土のすべての兄弟たちに対して、それを実行しているからです。兄弟たち、あなたがたに勧めます。ますます豊かにそれを行いなさい。

■当初からパウロの伝道を支えたように犠牲を払って各地の教会を支援。

→エルサレムへも後に巨額の献金を!!

愛は具体的な行動を伴う

マケドニア



勧告 信者の証し | テサ4:11~12

また、私たちが命じたように、落ち着いた生活をし、自分の仕事に励み、自分の手で働く* ことを名誉としなさい。

外の人々*に対して品位をもって歩み、だれの世話にもならず生活する* ためです。

*当時の知者はパトロンに頼るのが常

■暮らしぶりや、働く姿勢が、

見える形で未信者*への証しになること。

→未信者に負担をかけない
依存しない



日常が証しに
なっているか？

マケドニア



Ⅱ. 携挙の希望 13～18節

マケドニア

勧告 眠っている人たち | テサ4:13

眠っている人たち*については、兄弟たち、あなたがたに知らずにいてほしくありません。あなたがたが、望みのない他の人々のように悲しまないためです。

*死者の湾曲的表現

■ 終末論の学びが不十分だったため、再臨前に死んでしまった者は、神の国に入れるのか、大問題に!!

→ テサロニケの信者の唯一の憂い

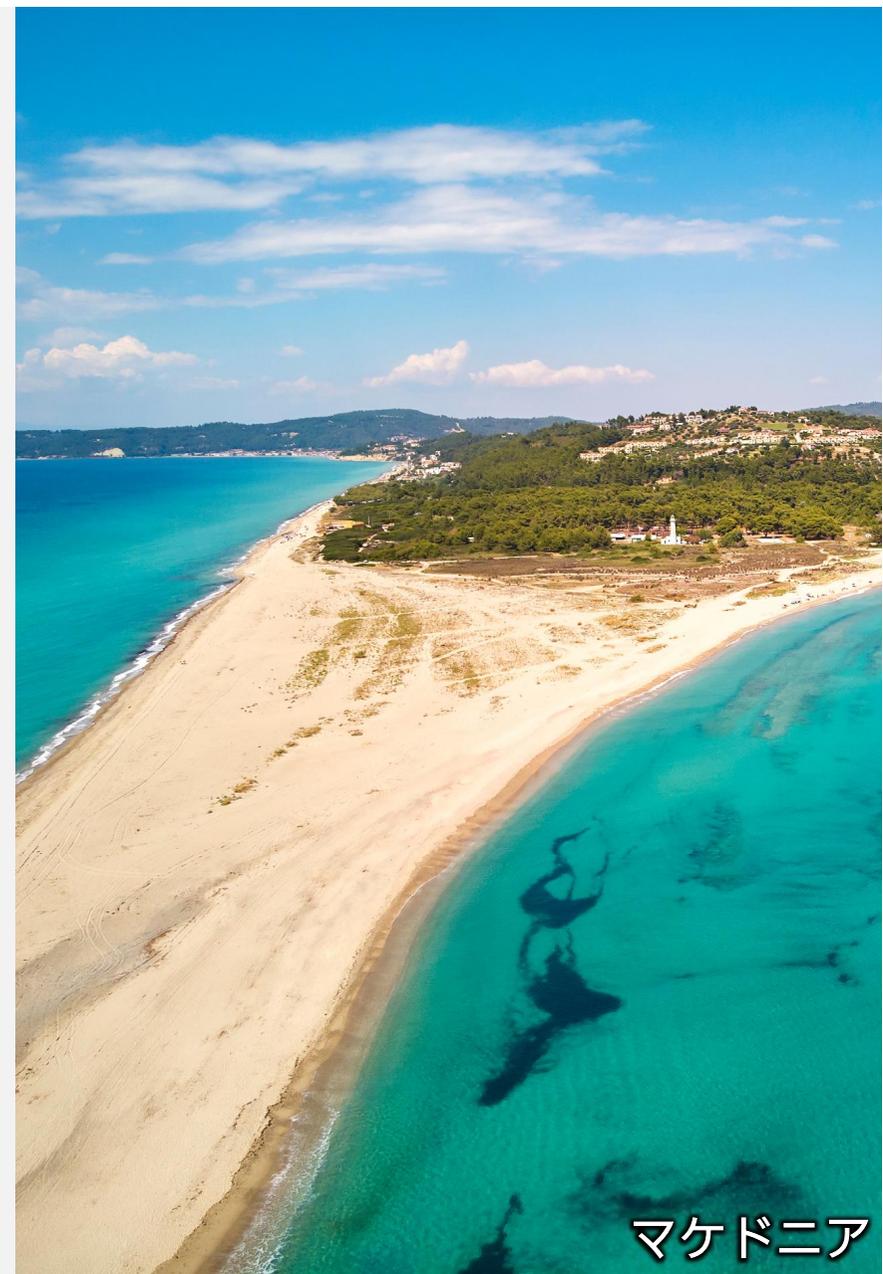


マケドニア

勧告 死者の希望 | テサ4:14

イエスが死んで復活された、と私たちが信じているなら、神はまた同じように、イエスにあって眠った人たちを、イエスとともに連れて来られるはずです。

- イエスの死と復活を信じた者は、たとえ死んでも、主に見捨てられない。
- 地上の信者が携挙され、復活する時、召された信者たちも復活する。

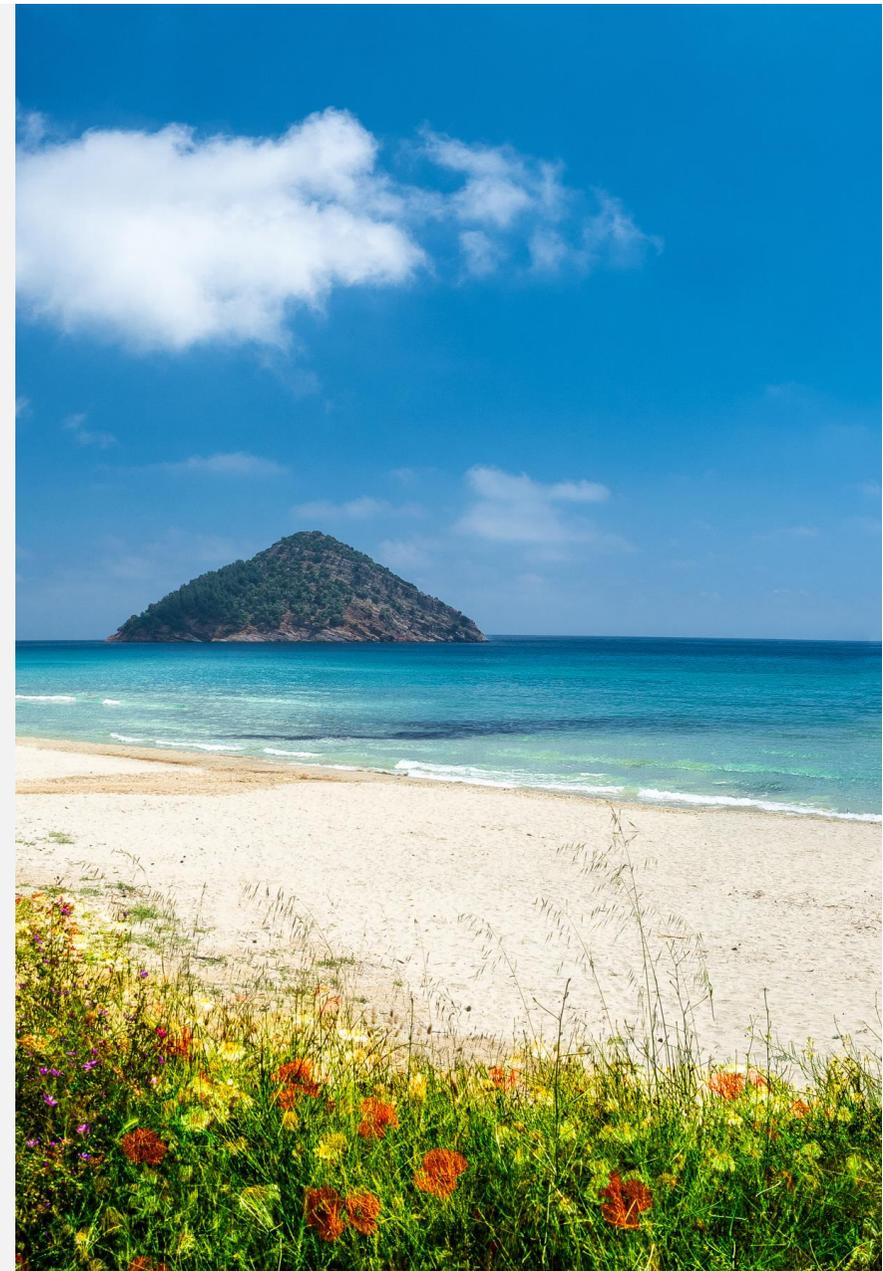


勧告 復活の順序 | テサ4:15

私たちは主のことばによって、あなたがたに伝えます。生きている私たちは、主の来臨まで残っているなら、眠った人たちより先になることは決してありません。

■ 信者の復活の順序は、

- ① 召された信者
- ② 地上にいる信者



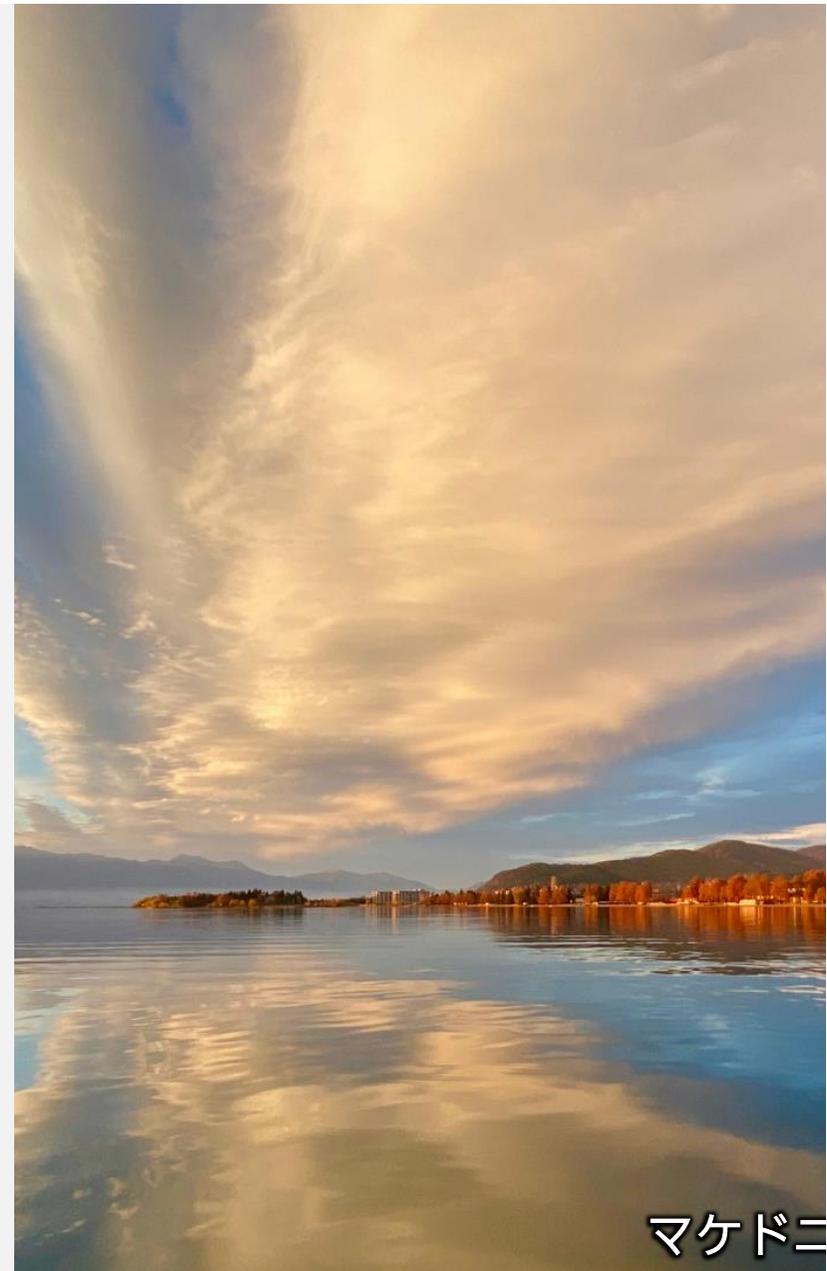
勧告 携挙(空中再臨) | テサ4:16~17

すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、

それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲*に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいる*ことになります。

*神の栄光

*天上の礼拝➡千年王国➡新天新地



携挙

■ マタイ福音書24:31

人の子は大きなラッパの響きとともに御使いたちを遣わします。すると御使いたちは、天の果てから果てまで四方から、人の子が選んだ者たちを集めます。

携挙

■ コリント人への手紙第一 15:51～53

聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。

私たちはみな眠るわけではありませんが、みな変えられます。

終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちに変えられます。

ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。

この朽ちるべきものが、朽ちないものを必ず着ることになり、

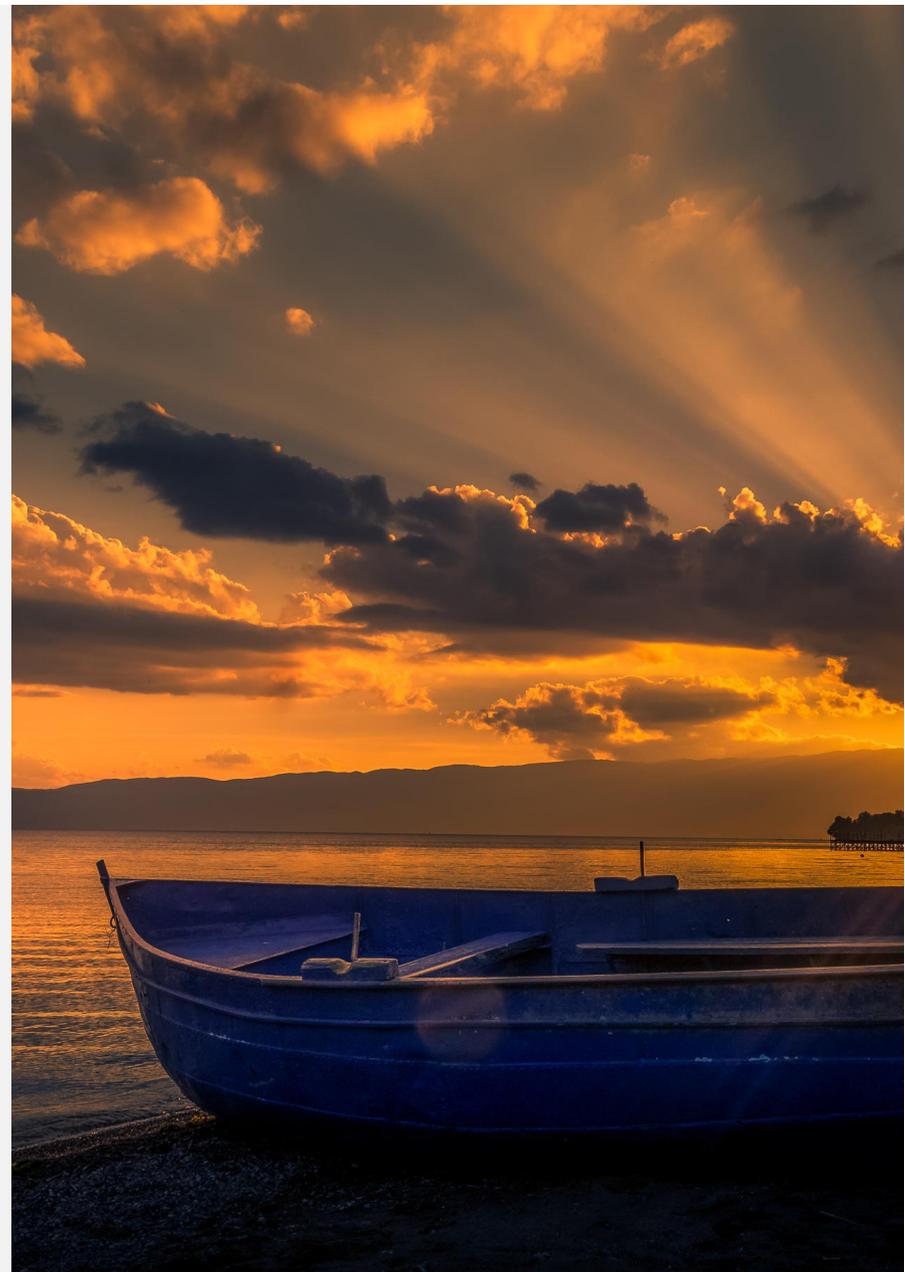
この死ぬべきものが、死なないものを必ず着ることになるからです。

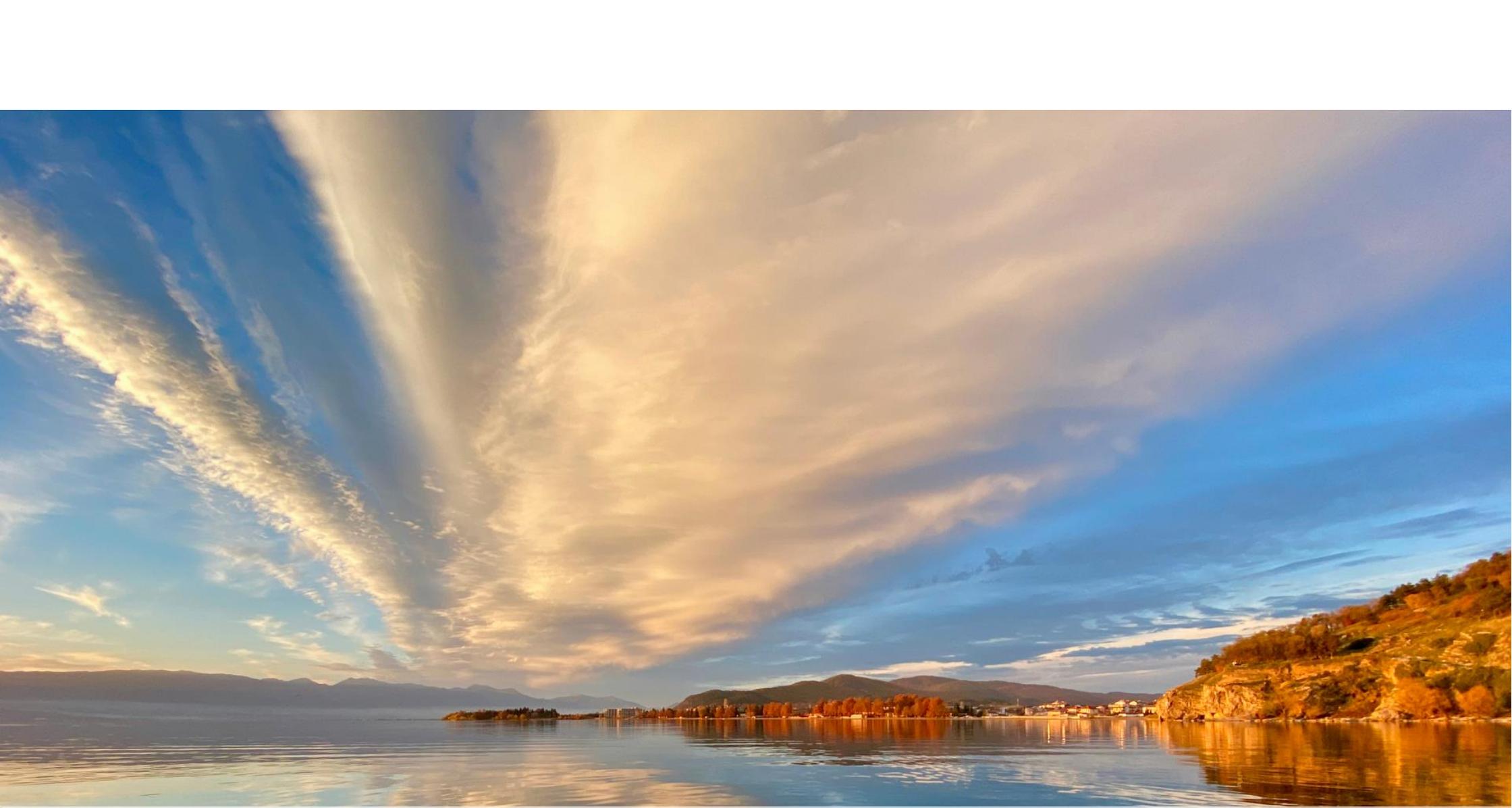
勧告 励まし合って | テサ4:18

ですから、これらのことばをもって互いに励まし合いなさい。

- 召された信者も共に栄光の体に預かる。
→ 憂いなく、互いに励まし合いながら、
聖化の道を歩んでいける。

**終末の約束が希望
主にある兄弟姉妹の存在が励まし**





IV. まとめと適用 聖化の過程を確かに歩もう

【パラダイス】

★終末MAP★

【新天新地】

【天上の礼拝】

【千年王国】

白い御座の裁き

【ゲヘナ(地獄)】

キリストの再臨

教会の携挙

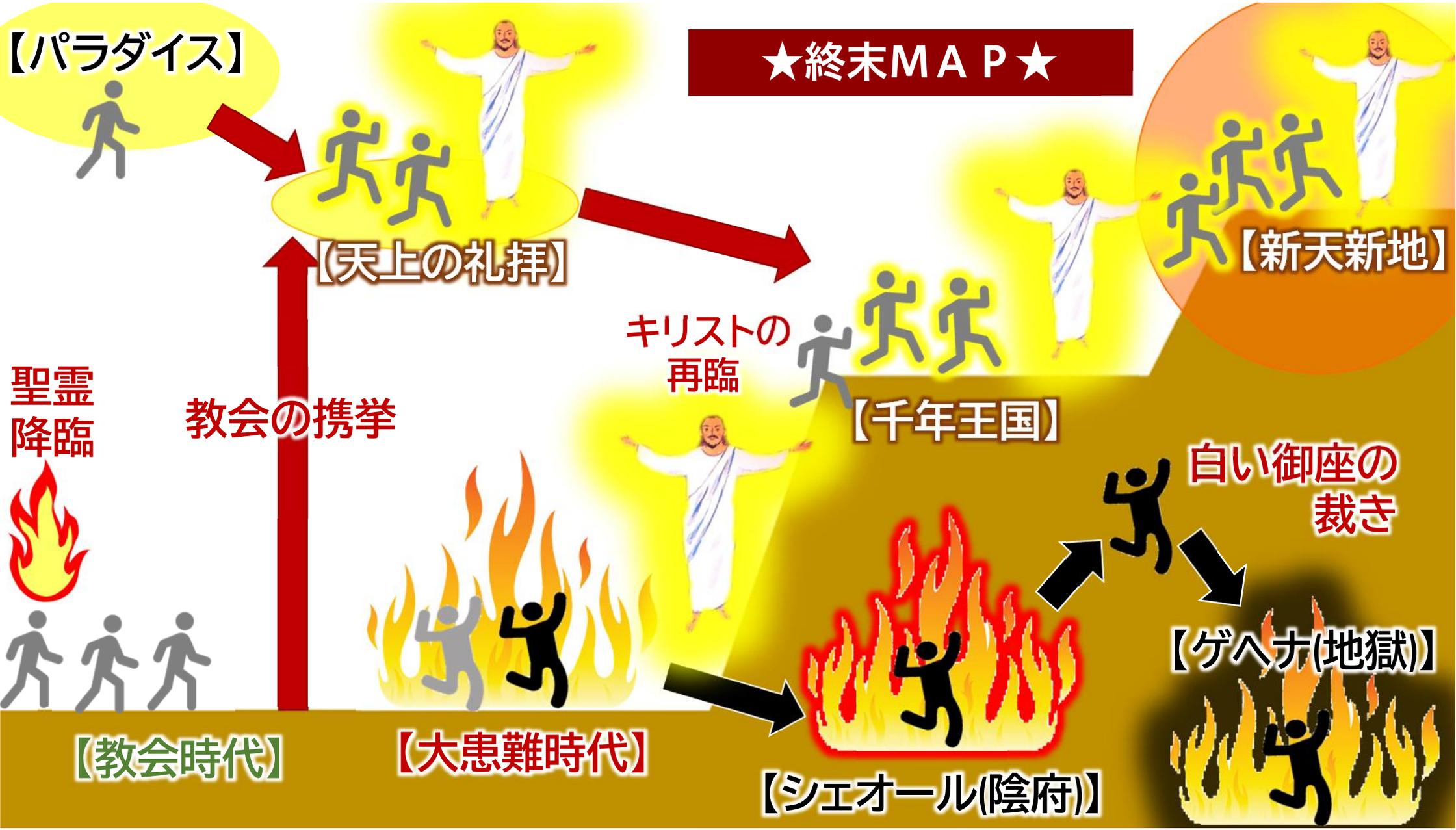
聖霊降臨



【教会時代】

【大患難時代】

【シエオール(陰府)】



救いの三つの段階

認罪

救いにあずかる大前提

…「私は神の怒りを受けて滅びにいたる罪人だ」と認識する

①義認

★福音を信じる信仰と主の恵みによって救われる

…「主イエス・キリストは、

私の罪のために十字架で死に、葬られ、復活された」

②聖化

★信仰の成長の過程

→主に信頼し続けることで、変えられ、成長させられていく

→信者に内住される聖霊に委ねていく

③栄化

★栄光の体を与えられる、完成の時。

→罪を犯すことはない。病も苦しみもない。

永遠の命を喜びに生きる。

携挙に!!

4章が教える聖化の道筋

- 目標 …**聖なる者**、神に喜ばれる者となる
- 課題 …自分の体を**聖なる尊いもの**として保つ
- 行動 …(性的、靈的に)淫らな行いを避ける
神を知らない異邦人のように情欲(欲望)に溺れない
欲望を優先して、兄弟を踏みつけたり欺いたりしない
- 裁き …この警告を拒む者は、聖霊と神を拒んでいる
➔神の罰が下る

携挙

- 度外れた欲望の奴隷となっているのが、私たち罪ある人間
 - ➔ 主の秩序を逸脱した性欲は、最たる罪を引き起こすもの
- 私がコントロールしがたいのは、欲望のどの面においてだろうか？
 - 例) 性欲、金銭欲、物欲、食欲、支配欲、自己顕示欲…etc
- 聖化の過程で御言葉の学びを深めるほどに浮かび上がる課題がある。
 - ➔ 己の欲望を優先して課題を拒む者は、兄弟姉妹を欺き、貶め、聖霊と主を拒み、厳しい裁きを招くことに!!

★ 聖化の過程を確かに歩もう ★

- 使徒の時代の教会にも問題は尽きなかった。
己の課題を直面させられ、打ち砕かれ、悔い改めに至るかどうか。
兄弟姉妹と共に歩み続けられるか、離れてしまうか。二分される。
立ち返らないまま滅びを迎える者は、救われていたのかどうか？
- 試練や懲らしめは、幸いと心得よう。主に愛された子なのだから。
主と兄弟姉妹への愛を、行いを伴って証ししていこう。
日々打ち砕かれ、御霊に満たされ、確かに成長させられていこう。

完成した私を見ていてくださる主に信頼して聖化を歩もう

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、
つみ あがな じゅうじか し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活したこと、を信じます。

うち す せいらい わたし み
内に住まわれるご聖霊が、私を満たしていただきますように。

う くだ く あらた わたし しゅ ひ あ
打ち砕かれ、悔い改める私を、主が引き上げていただきます。

しゅ み かんせい えいこう からだ む わたし あゆ
主が見ておられる、完成された栄光の体に向かって、私は歩みます。

しゅ はぐく よろこ み もちい
主に育まれ、ますます喜びに満たされ、用いられていきますように。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」